



日本人の美学

～ だいじょうぶの花 ミニフォーラム ～

出演者紹介



水澤 心吾 -Shingo Misawa-

一人芝居

1969年、19歳で上京。1974年「劇団俳小」に入団し舞台に立つ。
1977年「天守物語」(日生劇場)の坂東玉三郎の相手役にオーディションで選ばれ、本格的に俳優の道を進む。以後、テレビ・ドラマ、映画、舞台を中心に活躍中。また、かたわら10年間ビジョン心理学、哲学を学ぶ。ハワイでビジョン心理学の創始者チャック・スベノーザ博士の 트레이ナーズ・コースを終了。10年間学んだニューヨーク・アクターズ・スタジオ演技メソッドと心理学を融合させた、独自のヒーリング心理学と演技メソッドを確立。現在、セラピストとして各地で心理トレーナーとしても活躍。(1990年三沢慎吾より改名)



行徳 哲男 -Testuo Gyotoku-

対談

1933年福岡生まれ。成蹊大卒。労働運動激しき時代、衝撃的な労務紛争を体験し、「人間とは何か」の求道に開眼。69年渡米、Tグループの世界と出会い、米国流の行動科学・感受性訓練と、日本の禅や経営哲学を融合させ、BE訓練(Basic Encounter Training=「人間開発・感性のダイナミズム」)を完成させる。
箱根山中にこもり5日間にわたって実施される研修は、これまで開催550回、1万8千人超が参加。政財界、スポーツ界、芸能界など広い層に門下生を有する。現在、筑波大名誉教授・村上和雄氏、感性論哲学者・芳村思風氏らと共に、「21世紀の日本の使命を担い得る」青年の育成事業に携わっている。



芳村 思風 -Shifu Yoshimura-

対談

1942年奈良県生まれ。本名小橋章宏。学習院大学院哲学科博士課程中退。現在、思風庵哲学研究所所長、名城大学講師。
世界で初めて「感性」を哲学のテーマとして捉え体系化した人物。その教養の量と質、表現力には独創性があり、多くの人の心を打ち、全国に思風塾が結成されている。中小企業の経営者を中心にして、感性を原理にした人生観と世界観の哲学を説き続けている。現在、日本BE研究所 行徳哲男氏、筑波大名誉教授 村上和雄氏と「サムシンググレートは語る・シンポジウム」を始め哲学塾、講演会を通じて「21世紀の日本の使命」を担い得る青年達を育てる夢に賭け、具体的に愚直に行動を起こしている。また日本創建の為に、新都造営を強く喝えられている。「21世紀の世界史は 日本の大遷都から始まる!」と。

参加申込書

一般社団法人日本だいじょうぶ普及協会までFAXまたはメールにてご返信ください。
会費は当日、会場にてお支払いください。

出席します(参加人数 名) 欠席します

※参加される時間に○印をご記入ください。 14時 or 18時

氏名: _____ ふりがな: _____

住所: 〒 _____

電話番号: _____ FAX番号: _____

携帯番号: _____ Eメール: _____

返送先

FAX 03-3791-4180

メール event@daijoubu.jp

※メールの件名を「11月14日申込み」とし、上記内容を明記ください。